

浅川地区住民自治協議会だより



# せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 77 号

発行日 令和 2 年11月30日

発行人 高橋 秀通

## 「ようこそ市長室へ」開かれる！～住民自治協議会と市長との懇談会～

10月28日（水）「ようこそ市長室へ」が市長応接室にて開かれ、住自協から宮下副会長以下役員・事務局長 6 人、市側から加藤市長、酒井企画政策部長、日台市民生活部長ほか関係課長・職員、松本浅川支所長が出席し、約 1 時間懇談が行われました。

加藤市長挨拶の後、宮下副会長より浅川地区の概況、「まちづくり計画」の取り組みについて説明を行い、事前に集約した 3 つの課題（下記参照）について宮下副会長、吉澤副会長、小山副会長が提案を行った後、意見交換に入りました。

地区からの提案・要請を受けて、市側からは課題ごとに考え方や対応状況が示され率直な意見が交わされました。限られた時間の中ではありましたが、浅川地区に対する一定の認識の共有化が図られたことにより今後の取り組みに期待したいと思います。

### ◇懇談事項は以下の通り。

#### 1. 浅川地区における松くい虫被害対策の促進について

①松くい虫被害の実態把握、②枯損木の選別及び伐採の実施、③自然環境保全を踏まえた可能な防除対策の検討

#### 2. 乗合タクシー「あさかわ号」の運行改善について

①運行コースの延伸、②定時運行路線の拡大（ルート別、曜日限定等）、③土曜・日曜の運行実施、④バス停表示の統一、整備及び全バス停に表示看板設置

#### 3. 逆谷地湿原の現況と整備について

①湿原東側入り口表示の整備、展望デッキに至る木道の拡幅整備、②湿原北側から入る道の整備及び湿原を横断する木道の新設、③長野県指定「自然環境保全地域」、長野市指定「飯綱高原自然環境保全地域」、観光振興課「飯綱ブランド化計画」の一環として、教育資源・観光資源としての活用及び啓発

### ◇意見交換における特記事項は以下の通り。

#### 【松くい虫被害対策の促進について】

- 国、県の補助金を活用し被害木の伐倒駆除を毎年行っている。浅川地区でも昨年度127本伐採した。薬山東側斜面では35本伐採し、“お山の発電所”で燃料に活用した。近年は十分な補助金確保が難しく、すべての被害木の伐採ができないのが現状である。南側などの景観を損なっている場所では森林環境譲与税を活用した新規事業による伐採を考えている。急傾斜地や搬出道路がないなど困難な箇所もあり、現地調査をしてできる場所から実施したい。（久保田森林農地整備課長）

#### 【「あさかわ号」の運行改善について】

- 近年、「あさかわ号」の利用数は減少傾向にあり、小中学生の通学のため朝夕の 1 便に利用者が集中している状況。運行路線の延伸や運行時間帯等の見直しには、変更に伴いどの程度の利用者がどのような時間帯を利用するかなど具体的な需要や活用方を把握する必要がある。
- またタクシー事業者と現在の人員や車両で対応できるか、運行時刻をどうするのかなどの検討が必要である。その上で地区とし利便性の高まる運行方法を決定していただきたい。
- 停留所の標識については運行業務委託仕様書にあるとおり、委託者の住民自治協議会が受託者のタクシー事業者に貸与しタクシー事業者が設置することになっている。標識の購入費を必要経費に計上すれば補助対象経費とするので計画的に更新を進めてほしい。（北澤交通政策課長）

●バス事業者路線と重複すると難しいが、タクシー事業者とも相談し予算の範囲内でニーズに合わせた工夫はできないか。利用者負担を上げてでも利便性を高めるという発想も必要。(加藤市長)  
**【逆谷地湿原の現況と整備について】**

●4.5haに及ぶ10万年前からの泥炭層が堆積した貴重な湿原。市では平成11年県環境保全地域に指定されたことを受け、平成12年木道と観察デッキを設置した。観察デッキまでの木道は観光目的ではなく県自然保護レンジャーや市自然観察保護推進員等が自然観察を行う目的で設置したもの。拡幅については観光サイドと協議の上、検討したい。案内板については湿原内に設置しているが分かりにくいので道路側からの設置を検討したい。湿原北側から入る道の整備については飯綱町の所管となっており、また県の保全地域のため今回の要望を県、飯綱町にも伝え三者で検討したい。

●なお、全国的に湿原の陸地化が懸念されており、逆谷地湿原も葦が繁茂してきている。木道を整備しても葦を全て伐根するには重機を入れる必要があり対応に苦慮している。県環境保護研究所にも相談しているが方向性を見いだせないのが現状である。樹木については順次伐採していきたい。  
(長谷部環境保全温暖化対策課長)

●飯綱高原観光協会のパンフレットに「逆谷地湿原をめぐるウォーキングコースマップ」が記載されている。市では「山の駅飯綱高原」を拠点としたグリーンシーズンの観光誘客を目指している。「飯綱高原ブランド化計画」として飯綱高原を5つのゾーンに分け、それぞれのエリアで連携することを見込んでおり、逆谷地湿原は「湖沼・逆谷地湿原エリア」に位置付けている。現在進めている「山の駅」建設とキャンプ場整備の後に回遊コースの可能性を調査し、観光資源としての活用の可能性を研究していきたい。  
(神尾観光振興課長)

#### ＜加藤市長のまとめの挨拶＞

●松くい虫対策として広葉樹化等含め可能な対応を図っていきたい。「あさかわ号」の使い勝手の悪さは費用も含めてタクシー事業者と折り合いがつけられる方策を考えられないか。逆谷地湿原は貴重な資源。県・町とも検討する。地区から県へ直接要請もしたらどうか。

●浅川地区は中山間地・市街地がつながり、ある面で住みやすい地域。コロナ対応の中だが、市では感染予防を徹底する中ですべてのイベントを開催する方針である。地区としても積極的に活動してもらいたい。



【市長応接室での懇談風景～副会長から提案説明～】



【夕モを取る加藤市長】



【終了後、市長を囲んで写真撮影】

## ながの獅子舞フェスティバル開催される！

9月19日(土)第4回目となる「ながの獅子舞フェスティバル」が開催されました。例年は5月の連休中に開かれるのですが新型コロナウイルス感染拡大の影響で9月の開催となったものです。会場となった中央通りには市内24の神楽保存会が集まり(昨年は81団体)、歩行者天国になった新田町から末広町とJR長野駅善光寺口前広場の7か所で獅子舞を繰り広げました。



【獅子舞を熱演披露する伺去神楽保存会のみなさん】

昨年までは浅川地区から3団体が参加していましたが、今年は伺去神楽保存会が参加し日頃の練習の成果を披露しました。今年参加できなかった神楽保存会も来年には参加できるようコロナ禍の終息を祈りながら期待しています。

## 地区内めぐり行われる！～“春”の予定を“秋”に延期して～

9月27日（日）地公連主催の浅川地区内めぐりが行われました。例年は地公連の春の行事でしたが、コロナ禍により各種行事が軒並み中止になる中で、何とか実施しようという強い想いで実行されました。

霧のような雨が断続的に降る中、小学生から80歳代まで50名余が参加。2016（H28）年から2020（令和2）年の5か年計画で取り組んだ「浅川地区まちづくり計画」で整備した浅川ダム周辺～ブランド薬師をめぐるウォーキングコース6km余を歩きました。

9時に公民館を出発、予定より1時間遅れの午後1時に真光寺公民館に到着、昼食をとって散会しました。みなさんお疲れさまでした。



【ループラインを浅川ダム、そして急な階段を上りダム天端へ】



【天端から展望広場で一息つきました。】

【一ノ瀬橋を渡り、地域おこし協力隊の宋さんのワイン畑へ】



【裏参道から薬山山頂を経由してブランド薬師へ～八檜神社社殿には順番で参拝】



【ブランド薬師表参道を下りました！～濡れた山道を一步步つ～】

【真光寺公民館でお昼～真光寺区のみなさんありがとうございました！】



## 浅川地区災害対策本部会議開催される



9月26日（日）昨年の台風19号災害から1年、昨年の対応の記憶を呼び戻し教訓を次なる災害への備えとして確認し強化を図ることを目的に、浅川地区災害対策本部の本部長、各班長ほか主要メンバーによる会議を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大のため防災訓練を中止にしましたが、毎年発生する災害はかつてない被害を各地にもたらしています。加えて高齢化の進む地区においては自力では避難が困難なお年寄りや一人暮らしの人も増えています。会議では避難行動要支援者名簿の有効な活用や、各人、各団体の果たすべき役割について論議が交わされました。



【浅川地区災害対策本部会議】



なお午前中には長野市消防局若槻分署の主催で浅川・若槻・吉田地区合同の地域防災力向上研修会が浅川体育館で開かれ、自主防災会長・防災指導員・消防団員が参集しました。



【地域防災力向上研修会】

研修会では危機管理防災課から「マイタイムライン」、福祉政策課から「避難行動要支援者の避難支援について」の講義が行われました。

## 浅川地区戦没者追悼式挙行される ～浅川地区戦没者追悼式実行委員会～

10月17日（土）戦没者御遺族、来賓、区長等40名が参列して、浅川地区戦没者追悼式が行われました。新型コロナ感染防止のため来賓を縮小、参列者を遺族のいる区の区長に限定しての開催となりました。

式は黙祷、君が代斉唱に続いて、高橋実行委員長の式辞（宮下住自協副会長が代読）、埋橋県議、松木・寺沢市議、竹元遺族会長の追悼の言葉が慰霊に捧げられました。

いま世界は新型コロナ感染拡大の中で、各国は孤立化し大国間の覇権争いや対立が激化の一途をたどり、歴史上かつてない混乱と混迷に喘いでいるようです。

遺族会員も29名に減少するとともに、私たちの心の中でも戦争の記憶が薄れていく危機感があります。戦没者追悼という行為によって、かつての戦争の惨禍の記憶を掘り起こし平和を希求することの意味を改めて問う一日となりました。

【戦没者招魂碑  
93柱が眠る  
(公民館分室前庭)】



【黙祷】



【竹元遺族会長 “追悼のことば”】



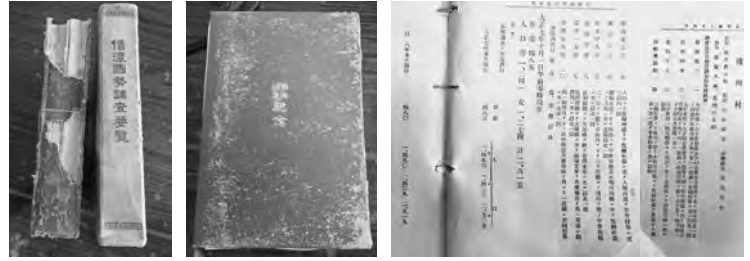
【献花】



【遺族会、来賓のみなさん】

## 1920年に行われた第1回国勢調査の記録が提供されました！ ～2020年 第21回国勢調査実施の年に～

1920（大正9）年に第1回国勢調査が行われてから100年の今年、第21回国勢調査が行われました。コロナ禍の中で各戸への訪問も制限される中で、浅川地区では40名の調査員の方がご苦労いただきました。そんな折、門沢区の祖山今朝雄区長さんから1920年の第1回国勢調査を記念してまとめられた「信濃國勢調査要覽」が提供されましたのでご紹介いたします。



【「信濃國勢調査要覽」～表紙には「国勢調査記念」、綴じは緩んで傷みが激しい。】

戦前においては国勢調査員になること自体がステータスであり、第1回調査の2年前（大正7年）に公布された國勢調査施行令では、「國勢調査員ハ府県知事ノ推薦ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス」「國勢調査員ハ名誉職トス」と規定され、調査終了後に発刊された「國勢調査記念録」は紳士録としての性格を持っており、経歴として載せるために寄付を行う調査員も多かったといえます。「信濃國勢調査要覽」にも調査員全員の紋付羽織姿の写真が掲載されており往時の調査への熱気が偲ばれます。

第1回の調査結果では浅川村は世帯数485戸、人口2,615人（男1,314人、女1,274人）となっています。

【調査員全員の写真～長野県全市町村の調査員が載っています。】



## 地域おこし協力隊だより

Vol. 10



9月からは浅川ブドウ畑での作業を一旦休止し、研修先である角藤農園（高山村）の収穫作業を主に行いました。ソービニオン・ブラン種、シャルドネ種の白ブドウ品種から始まり、メルロー種、カベルネ・ソービニオン種の黒ブドウ品種と続き、10月末ですべてのブドウ収穫が終わりました。

今年の長野県は多雨の長梅雨、その後の少雨高温などブドウ栽培には厳しい天候条件となり、やはり隣県を含め、長梅雨、高湿度によるカビ系病気の蔓延、結実不良、果実日焼け、裂果など多くの問題が発生した模様です。全ての農家さん、品種に大きな被害が出た訳ではなく、中には例年以上に高品質なブドウを实らせた方もいれば、品



【ソービニオン・ブラン種  
（白ブドウ）】



【メルロー種（黒ブドウ）】



【収穫を終えて積まれたカベルネ・ソービニオン種（黒ブドウ）】



【収穫を終えたブドウ畑  
（高山村・角藤農園）】

種によっては素晴らしい出来栄のものもあり、それぞれに差があったように感じます。

異常気象により年々苦勞の絶えない日本のワイン用ブドウ栽培ではありますが、日々しっかりと栽培を学び、将来は綺麗なブドウを浅川で実らせたいと思います。引き続き応援の程よろしくお願いいたします！

（浅川地区地域おこし協力隊員 宋 裕光）

## 社会福祉協議会コーナー

# 共に生きる



### 令和2年度アップルキッズが始まりました

アップルキッズは未就園のお子さんとお保護者を対象に、地域のボランティアの方々や浅川社会福祉協議会が開催している子育て・子育て支援事業です。

毎月原則第3水曜日の午前中、浅川公民館2階の大会議室で一緒に遊んだり、おうちの方向士でおしゃべりをして子育ての情報交換をしたりしています。

今年度は新型コロナウイルス予防のため活動を見合わせていましたが、感染予防対策を講じて9月からスタートしました。

12月はクリスマス会を予定しています。

ご参加を希望される方は  
浅川社会福祉協議会 ☎262-1362まで



### アップルカフェ in あさかわ ～介護教室～

去る9月17日（木）浅川公民館2F大会議室にて「アップルカフェ in あさかわ」～介護教室～を開催。講師には地域包括支援センター「博愛の園」より2名お越しいただき、介護の基本を実例など交えながらご講演いただきました。転倒予防体操もご指導いただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。



介護の事で  
相談したいことが…

どういった  
ご相談ですか？



## 浅川おとこ塾 開塾!



今年度も「浅川おとこ塾」開塾!  
新型コロナウイルスの影響で開塾  
が大幅に遅れてしまいましたが、無  
事、4期生を迎えることができました。  
第1回は「マグネット吹矢」を  
体験。講師2名をお招きし、作法や  
矢の吹き方など丁寧に指導いた  
だき、楽しく活動することが出来ま  
した。



## ふれあい会食会

例年7月に開催される「ふれあい会食会」。新型コロナウイルスの影響で延期していま  
したが、感染予防対策を徹底し10月初旬に4回に分けての開催となりました。

健康相談、浅川史跡巡りスライドショー&歓談タイムと短い時間ではありましたが、楽  
しいひと時を過ごすことができました。

会食会とはいえ新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大勢での会食は困難でしたので  
お持ち帰りのお弁当とさせていただきます。お弁当は浅川地区の方々からご寄付いただ  
いたお野菜や果物を使用してのオリジナルのものをご提供。

ご協力いただきました住民の皆様、ありがとうございました。



# 今年も浅川産ハックルベリージャムが出来ました!!

浅川河川敷遊歩道を中心にチーム・フロンティア浅川と区民のみなさんが協力して種まき・植え付けを行い、9月から10月にかけて収穫・選別されたハックベリーは約70kg。昨年と同じ(株)信越食品さんに製造をお願いして309個のジャムになりました。

“美味しい!”と好評で販売前から予約やリピーターの購入も相次ぎ、1個500円のジャムは早々に売り切れました。



【浅川産ハックルベリージャムとハックルベリーの実】

## 浅川の秋の風景

浅川に秋が訪れました。  
実りの秋の収穫や花々が咲く風景を拾ってみました!



【(左上) 区民有志のみなさんが育てているコスモスが満開です。「太陽の丘」と名付けました。  
(伺去立石)】

【(左下) イングリッシュガーデン風のお庭に可憐な秋の花が咲いています。  
(伺去区の青木さん宅の庭)】



【家族総出で稲の収穫! たわわに実りました!  
(北郷・鎧田) \* 写真は松野邦弘さん提供】

## 広報委員から

日頃は消防浅川分団の活動にご支援ご協力を頂きありがとうございます。

今年は先の見えないコロナ禍の関係でライフスタイルが大きく変化し、家庭での時間が増加していると思われます。またこれからの季節は暖房器具等の使用により火災発生の増加が懸念されます。

火災報知器があると、初期状態で消火活動ができます。しかし取り付けられた火災報知器も定期的に点検していないと、いざという時に動作しないで役に立たない物になってしまいます。

火災報知器の設置が義務付けされてから約10年が経過し、火災報知器の耐用年数も10年と言われています。是非これを機会に取り付け、点検または交換をお願いいたします。

消防団員も募集しています。

広報委員 安全防災部会(消防浅川分団) 松木 栄